



トリアル社長
ボッキー牧原

今年の初め大阪のとある「お好み焼き屋さん」でDaiちゃんが、無責任にもR33GT-Rでワゴンを作りたいと話をしてた。その話を横で聞いていたわけだが、正直なところ、他人事だったし、またそんなヤツが世の中にいたら、どんなヤツか顔を見たいとさえ思っていた……（今だから書くけど）。

それが、ナッ、何んと4月の初め、ワシの真っ白なR33GT-Rが追突されてしまうと、それを聞きつけたDaiちゃんは、天の声ならぬ悪魔の声でつぶやき始めた。「それはもうワゴンにするしかないぞ」「それはもうワゴンにするしかないぞ」と。結果R33GT-Rはついにスピードワゴンへの道をたどり始めた//でもお蔭でもう1台GT-Rを買うハメになっても一た。どーして?



レイズ社長
スズキ 渡辺

皆さん、こんにちは。レイズのスズキとベントレースズキです。Daiちゃんにはまったくもう「ええ加減にせえよ/」って感じですね。助けが必要になると決まってウチにやって来て、開発費を出せだの、オリジナルのホイールを作れだの、エアバッグ付きのステアリングを作れだの、舶来モンのマフラー用意しろだのと、言いたいだけ言って東の空に消えてしまふんやから……。残されたオレはどうすりゃいい? トホホ……。なにいノマッとも作れ、カラーリングも考えろだつて/」ガックリ。



シロマ社長
城岡 孝一

わが社ではOPT2インプレッサの第2弾と思い、仕事を引き受けました。Daiちゃんからの音が合った時は、ギョッ//としてしまいましたが、変わった仕事をするのは大好きなので、思わず「OK」してしまいました。

でもホントに本気なの……?

Daiのわがままに敵へんのが決定したチューナー'sボイス

天下無敵の スカイラインR33GT スピードワゴン



がない。

それならワゴンにすればいい。

そう思っていたところに、大阪トリアルのボッキー牧原から「Daiちゃん、納車されたばかりのRがオカマ掘られちゃった」という音だ。

まさに神の助け。「そのR、オレのワゴン計画に供出して/」「そんな無茶な……でもオモロそう」といった具合でクルマは出てきた。

あとは協力してくれそうなところに攻撃。ワゴン専用ホイールを開発したいレイズ、カーエレクトロニクスはケンウッド、エンジン関係は何とかなるだろう。製作はオレがインプレッサワゴンを改造してもらったことのあるシロマ。みんな「そんなムチャな……でもオモシロそう」という常套文句で決まりだった。

OPTはGTスポーツ系のチューニングがメインだけど、面白いクルマ作りも大好きだ。ちょうど目下、世の中はRVやワゴンブームときたもんだ。ここらに得意のチューニング魂を吹き込んでやりたいという思いもある。

こいつにスタイヤやジャッキを積んで走行会へ殴り込んだり、気分リフレッシュにオートキャンプしたり、みんなのところに取材に行ったら楽しいだろうな。

もちろん、やるからには、世界一のカッコいい300km/hワゴンを作ってやるぞー。

(Dai)